



連日の報道にあるように新型コロナウイルス感染については国内の複数地域で、患者が散発的に発生しております。まさに今が、今後の国内での健康被害を最小限に抑える上で、極めて重要な時期です。今回は新型コロナウイルス感染症の特徴や対策について紹介します。

新型コロナウイルス感染症とは？

新型コロナウイルス感染症とは、過去にヒトで感染が確認されていなかった新種のコロナウイルスが原因と考えられる感染症です。今回の新型コロナウイルスについて、感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法に基づく「検疫感染症」に指定されました。

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすコロナウイルスはこれまで6種類知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがある SARS-CoV (重症急性呼吸器症候群コロナウイルス) と MERS-CoV (中東呼吸器症候群コロナウイルス) 以外は、感染しても通常の風邪などの重要でない症状にとどまります。

コロナウイルスの構造について

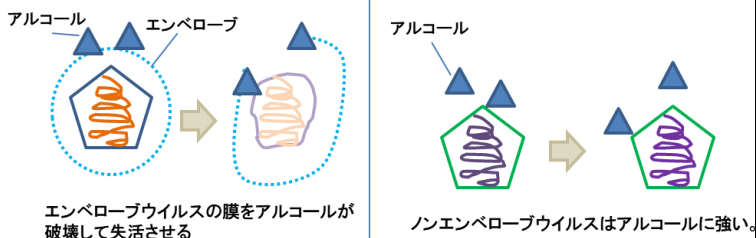
ウイルスはその構造からエンベローブ (脂質性の膜) のあるエンベローブウイルスとエンベローブのないノンエンベローブウイルスに分けられます。

エンベローブウイルス：コロナウイルス、インフルエンザウイルスなど

ノンエンベローブウイルス：ノロウイルス、アデノウイルスなど

エンベローブウイルスの膜状のものを破壊してしまえば、ウイルスは死滅しますが、ノンエンベローブウイルスは膜状のものを持っていない分、ウイルス自体が強固に形成されています。

コロナウイルスはエンベローブウイルスなのでアルコール、次亜塩素酸消毒、共に有効です。一方でノンエンベローブウイルスであるノロウイルスにはアルコールでなく次亜塩素酸が効果的です。



新型コロナウイルス感染症の症状

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと (一週間前後) が多く、強いだるさ (倦怠感) を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日 (多くは5~6日) と言われています。

日常生活で気を付けること

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により移ると言われています。飛沫感染を防ぐためにはマスクが有効です。特に混みあった場所、屋内や乗り物など換気が不十分な場所では咳やくしゃみによる飛沫を防ぐ効果が高いと言われています。一方で屋外などでは、相当混みあってない限り、マスクを着用することによる効果はあまり認められていませんが、咳などの症状がある方は、マスクを着用するか、咳エチケットを行ってください。感染者のくしゃみなどで汚染されたものを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻をさわると粘膜から接触感染します。まずは手洗い、さらにアルコール手指消毒を行うことも有効です。

* 咳エチケット、手洗い、マスクの使用法については別紙 (各店舗に掲示・配置) を参照してください。



帰国者・接触者相談センターに相談する目安

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く。
- ・強いだるさ (倦怠感) や息苦しさ (呼吸困難) がある。

なお糖尿病、心不全、呼吸器疾患 (COPD 等) の基礎疾患のある方や高齢者、透析をうけている方、免疫抑制剤を用いている方は2日程度続く場合には相談してください。

帰国者・接触者相談センター

新潟市	平日	夜間・休日
	8:30~17:15	
新潟市保健所保健管理課	025-212-8194	025-212-8194
新潟県福祉保健部 健康対策課	025-280-5200	025-285-5511

参照：厚生労働省ホームページ、サラヤホームページ
作製：R2.2.28 ケンユウ女池上山薬局